

2018年4月6日

報道関係各位

 一般社団法人日本能率協会  
 産業振興センター

“次世代の交通インフラ”を実現する最新の技術と事例をご紹介  
**「第3回 駅と空港の設備機器展 / バス車両と運行システム展」**  
**「第1回 パーキングシステム・設備展」**  
 2018年4月18日より幕張メッセで開催

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2018年4月18日（水）～20日（金）の3日間、幕張メッセ（千葉市美浜区）で、「第3回 駅と空港の設備機器展」「集中展示 バス車両と運行システム展」「第1回 パーキングシステム・設備展」を同時開催します。

旅客・観光需要の増加や2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、交通インフラの重要性が見直され、鉄道／旅客機／バス等の公共輸送の利便性向上・サービス向上は不可欠となっています。

本展では、日常生活から観光需要まで、“次世代の交通インフラ”の実現に貢献し、それを支える最新の製品やサービスをご紹介します。

また展示会場内では、国土交通省による「地域公共交通の事例と方向性」「ユニバーサルデザイン2020への取り組み」や自治体（さいたま市・名古屋市）による「まちづくり」の事例など、行政・運営主体・産学等の第一人者・専門家による特別講演を行います。

あわせて、“シェアリング”に注目が集まるパーキングの領域にも焦点を当てた「パーキングシステム・設備展」を初開催し、より広い視点での交通インフラ充実を推進していくイベントとなっています。

■■ 開催概要 ■■

- 名称： 第3回 駅と空港の設備機器展 / 集中展示 バス車両と運行システム展  
 第1回 パーキングシステム・設備展
- 会期： 2018年4月18日（水）～20日（金） 10：00～17：00
- 会場： 幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬）
- 主催： 一般社団法人日本能率協会
- 後援： 国土交通省（駅と空港の設備機器展）
- 入場料： ￥3,000（税込） ※ホームページからの事前登録証または招待状持参者および学生は無料
- 展示規模： 50社／83ブース（上記3展示会合計）
- 同時開催： 第4回 国際ドローン展／技術シンポジウム  
 TECHNO-FRONTIER 2018 展示会 / 技術シンポジウム
- 来場対象： 鉄道事業者、鉄道施設管理者、空港施設管理者、航空会社、バス運行事業者、  
 公営交通運業者、パーキング運營業者、その他施設管理者、官公庁・自治体 など

<取材のご案内>

取材にあたってはプレス登録が必要です。名刺を2枚ご用意いただき、来場当日にプレスルームでお手続きをお願いいたします。なお、国際会議場で開催する「技術シンポジウム」は取材をお受けできませんのであらかじめご了承ください。

<プレスルーム>幕張メッセ6ホール前（2F通路沿いのガラスで囲われたスペース）各日9:30～17:00

※テレビ・ラジオ媒体の取材については、事前に下記事務局までご連絡ください。

【本件に関するお問い合わせ】 駅と空港の設備機器展事務局 担当：大岡、国部（こくぶ）

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター内

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

TEL：03-3434-0587 / FAX：03-3434-8076

E-mail：tf@jma.or.jp / ホームページ：https://www.jma.or.jp/st/

※取材のお問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：斎藤）へお願いいたします

## ■各展示会の概要ご紹介

### ◆「駅と空港の設備機器展」

東京オリンピック・パラリンピックを2年後に控え、訪日外国人、並びに国内旅行者の玄関口となる駅・空港ターミナルの利便性とサービス向上、普及促進を目的に開催します。

また、駅と空港に焦点をあて、駅構内や空港ターミナル内で利用される最新の「設備」「システム」「サービス」を紹介します。

第3回目となる本年は、インバウンド需要に向けた安全設備、案内サービスのほか、多言語化対応の機器など過去出展製品に比べ、国内海外旅客者向けの展示が多く、関心の高さが伺える内容になっています。

最近の空港施設事例と今後の展望ということで東京国際空港旅客ターミナルビルの事例紹介のほか鉄道会社による駅を核とした地域政策まちづくりなどのテーマで特別講演会を開催します。

【出展企業・団体】(50音順・法人格略、2018年4月5日現在)

R.O.D	アイコム	インターオフィス	A-Safe	エイチ・シー・ネットワークス	
エジソンハードウェア	SKD Hi-TEC	SUS	オブテックス/技研トラステム		
カイスイマレン	京三製作所	交通新聞社	篠原電機	ジャパンエニックス	
新陽社	TOA	テラモト	東洋電装	日本光電工業	日本鳩対策センター
日本ユニシス	ハイテクインター	ビーエスティー	ビジョンボックス	美創	
フィリップス・ジャパン	フィリップモリスジャパン	フジナガ			
富士フィルムイメージングシステムズ	瑞穂	山崎産業			

### ◆「バス車両と運行システム展」

旅客・観光需要を担い、国内並びに海外旅客者の重要な移動手段である「バス」にも注目し、安全運行技術と運行システムほか、最新の「設備」「システム」「サービス」を展示します。

特別講演会ではバス輸送の役割と今後を見据えた公共交通のあり方というテーマのほか、最新の自動運転モビリティサービス実現に向けた取り組みを紹介し、未来型の今後の姿を見据えた内容をテーマに開催します。

【出展企業・団体】(50音順・法人格略、2018年4月5日現在)

IHI	工房	ニチボウ	バンプレコーダー	モバイルクリエイト	レシップ
-----	----	------	----------	-----------	------

### ◆「パーキングシステム・設備展」

駅や空港などに加え、生活環境には必要不可欠なエリアであるパーキングに焦点を充て、自動車、二輪車、自転車の駐車・駐輪に関する最新のシステム・サービス・設備に関する専門展示会を開催します。前回開催の駅や空港の施設担当者の多くの声により、利便性及びサービス向上を目的に初開催します。

国内ではほぼ唯一であるパーキングに関する専門展示会であり、ハード部分では最新システムを搭載した最新の実機展示に加え、ソフト部分ではパーキングのWEBシステム、その他最新のソリューションを駆使した内容を紹介します。

特別講演会では自治体が行っているシェアサイクルの実例を紹介するほか、ETCを活用したパーキングシステムの研究を発表。これからのパーキングのあり方を現在行われている事例を踏まえつつ複数セッションで開催します。

【出展企業・団体】(50音順・法人格略、2018年4月5日現在)

アイ・エム・ジェイ	アダマンド並木精密宝石	アマノ		
ETC2.0普及促進研究会(沖電気工業/日本工営/三菱プレジジョン)		オーク	サニカ	
駐車場防水施工研究会(ダイフレックス)	東京電気技術工業			
南南アルミ工程/南南アルミニウム	日本プリメックス	PUX		

## ■特別講演会プログラム

～政府・自治体、運営会社、サービス提供企業等による最新事例と今後の動向のご発表～

会 場： 展示ホール7内 特別講演会会場

定 員： 300人

参加料： 無料 ※申込みはホームページ <http://www.jma.or.jp/tf/sat> で受付

4月18日(水) 10:30～11:30	都市におけるバス輸送の役割と公共交通の今後 横浜国立大学 理事・副学長 中村 文彦 氏
4月18日(水) 12:00～13:00	さいたま市の自転車まちづくり ～さいたまは一と～ さいたま市 都市局 都市計画部 自転車まちづくり推進課 主任 田中 勝太 氏
4月18日(水) 13:30～14:30	最近の空港施設事例と今後の展開(東京国際空港旅客ターミナルビル) 株式会社梓設計 常務執行役員 土肥口 清 氏
4月19日(木) 10:30～11:30	自転車運転モビリティサービスの実現のための取組み 株式会社ディー・エヌ・エー オートモーティブ事業本部 シニアマネージャー 隈本 直輝 氏
4月19日(木) 12:00～13:00	東京スカイツリータウン周辺の5年と今後の展望 東武鉄道株式会社 生活サービス創造本部 SC事業部長 木村 吉延 氏
4月19日(木) 13:30～14:30	地域公共交通の先進事例、そのあり方と国の施策の方向性 国土交通省 総合政策局 公共交通政策部 交通計画課 課長補佐 酒井 達朗 氏
4月20日(金) 10:30～11:30	リニア中央新幹線開業を見据えた名古屋駅周辺のまちづくり 名古屋市 住宅都市局 リニア関連都心開発部
4月20日(金) 12:00～13:00	ETCを活用したパーキングシステムの研究 ETC2.0 普及促進研究会 事務局長 片山 賢治 氏
4月20日(金) 13:30～14:30	ユニバーサルデザイン 2020 行動計画を踏まえた国土交通省の取組みについて 国土交通省 総合政策局 安心生活政策課 企画官 勘場 庸資 氏

以 上